

横浜の共創

—その軌跡、そして未来への展望—

横浜市は「共創（Co-creation）」という言葉をも、単なる公民連携の言い換えではなく、「社会的課題の解決を目指し、民間事業者と行政の対話により連携を進め、相互の知恵とノウハウを結集して新たな価値を創出すること」と定義し、独自の歩みを続けてきました。

本セミナーでは横浜の共創の歴史を振り返りながら、企業・市民活動団体・NPO・大学・行政などの横浜の多様な協働や共創に取り組む方々が共通言語として持っておきたい「共創」の定義と本質を再確認します。セミナー後のグループトークでは、参加者同士で感想を共有し、これからの横浜の共創について考えます。

横浜の共創に関心のある方々が集まる機会です。交流の場としてもぜひご参加ください！

Lecturer



河村 昌美 氏

事業構想大学院大学 事業構想研究所 教授

横浜市在職中、庁内起業家制度で日本初の「広告・ネーミングライツ事業」を立ち上げ、共創推進室では数百件の公民共創型ソーシャルビジネス構想に携わる。市を中途退職後大学教員として全国各地で数多くの事業構想を指導。

日時：2026年9月9日（水） 14：30～16：30（14：00受付開始）

会場：横浜市市民協働推進センター スペースAB

対象：－横浜市で「共創」を実践・模索している方
－地域・社会課題に取り組む横浜の企業・
市民活動団体・NPO・大学・行政等
－横浜における公民連携に関心のある方 など

定員：30名（先着順） 参加費：無料（要事前申込）

申込締切：2026年9月2日（水）

[申込・詳細はこちら](#)

